

地域活性化と多様性

地域が置かれた状況は、グローバル化・経済縮小、超高齢化・人口減少によって厳しさを増している。そんななか、地域が持つ多様性は、活性化のための資源として地域活力の回復を導く一方、活性化に向けてのアプローチを多様化させ、方法論の確立を遅らせている。地域活性化を進展させるためにも地域と活性手法を再整理する必要性が生まれている。本研究会では、SNSと地域活性化、マンガ・アニメ等によるコンテンツツーリズムと地域活性化についての2つの事例研究から、地域と活性手法がマッチするための条件を考察する。

○日時 平成26年6月14日(土) 10:30～13:00
○場所 児島惟謙館2階 第2会議室

◆第1報告(報告時間10:30～11:10、討議20分)

テーマ

「地方自治体におけるソーシャル・ネットワーキング・サービス活用の調査」

報告者 畑 耕治郎 大手前大学 現代社会学部 情報メディアセンター
准教授 博士(工学)

討論者 小倉 慶久 地域主権研究班研究員・関西大学非常勤講師

◆第2報告(報告時間11:30～12:10、討議20分)

テーマ

「趣味の包摂が生む地域活性化～アニメ聖地に見る他者の受け入れから～」

報告者 谷村 要 大手前大学 メディア・芸術学部 講師
関西学院大学 Zero Carbon Society 研究センター客員研究員

討論者 宮下 真一 地域主権研究班研究員・関西大学政策創造学部教授

◆自由討議(12:30～13:00)

司 会 橋本 行史 地域主権研究班主幹・関西大学政策創造学部教授

●聴講自由 多数のご来場を歓迎いたします。

●問合せ先 関西大学研究所事務グループ 〒564-8680 吹田市山手町3-3-35
TEL 06-6368-0329 / FAX 06-6339-7721
E-mail : hogakuken@ml.kandai.jp